



『落画』シリーズ(2011)。第40回 日本漫画家協会賞大賞受賞作品



『JAPAN as SAMURAI THE CARTOON OF JAPUNCH! ウノ・カマキリ作品集』の一部。ポッパルチャーとして世界からの注目も高い



市公式テーマソング『知立のうた 知立は知立(ともだち)』の作詞はやなせたかし氏。これもウノさんをきっかけに生まれた縁でした。ウノさんの誠実な人柄を育んだ故郷。そこで暮らし、未来へ進む子どもたちへエールを送ります。

1960年代、テレビ番組でアニメーションを発表していた久里洋二氏とのつながりができると、自身のイラストや漫画を持参。作品を見てもらう機会を得ました。すると「週刊誌に売り込んでみては」とアドバイスを受けました。久里氏は日本人として初めてスイスの美術雑誌の表紙デザイン制作や 旭日小綬章を授与された人物。この言葉に背中を押され、アニメーターから漫画家への一歩を踏み出すことになりました。

『平凡パンチ』でデビュー。グラビア8ページでイラストが掲載されました。「無名の新人に大役を任せましたが、雑誌、編集者が漫画家を育ててくれた」と振り返ります。



profile

ウノ・カマキリさん

『平凡パンチ』(1968年12月2日号)にて、イラストが掲載されデビュー。編集者から「インパクトのある名前を」とアドバイスを受け、中学時代のあだ名を使ったペンネームにしたものこの時から。週刊朝日、読売新聞、東京新聞などのコマ漫画や挿絵で活躍。1946年1月1日生まれ、75歳。日本漫画家協会、協会理事を歴任

その後にも活躍の場を広げ、数多くの新聞、雑誌で1コマ漫画や挿絵を担当。現在、画集『はちプラスむげん』

風刺漫画に必要なことは愛情とユーモア、デフォルメのおもしろさ。絶妙なバランス感覚で描くからこそ、読者はクスリと笑えます。

「いま、漫画と呼ばれるものはコマが多く、昔言う劇画(アニメーション)のようですね。簡潔でわかりやすいのが1コマ漫画の魅力」と話すウノさん。当時よく描いていた政治家は田中角栄氏をはじめとしたパワフルなばかり。「みんな皮肉られても、跳ね返すパワーがみなぎっていた」と昭和の有名人を振り返ります。

「私は1964年、東京オリンピック開催の年に上京しました。2021年に再び東京でオリンピックが開かれ、同時に市制50周年イベントで呼んでもらい知立市に帰省でき、縁を感じています。上京しても、まっすぐで正直な気持ちは忘れずに生きてきました。誠実であれば、必ず誰かが手を差し伸べてくれます。子どもたちには生まれ故郷を誇りに、まっすぐに生きてもらいたいです。」



7月17日～9月5日まで知立市歴史民俗資料館で行われた展示会「ウノ・カマキリワールド-Cartoon-(カートゥーン)」。

「知立は知立(ともだち)」の気持ちは伝えたい

アニメーターから漫画家へ 作品を持ち込み道拓く

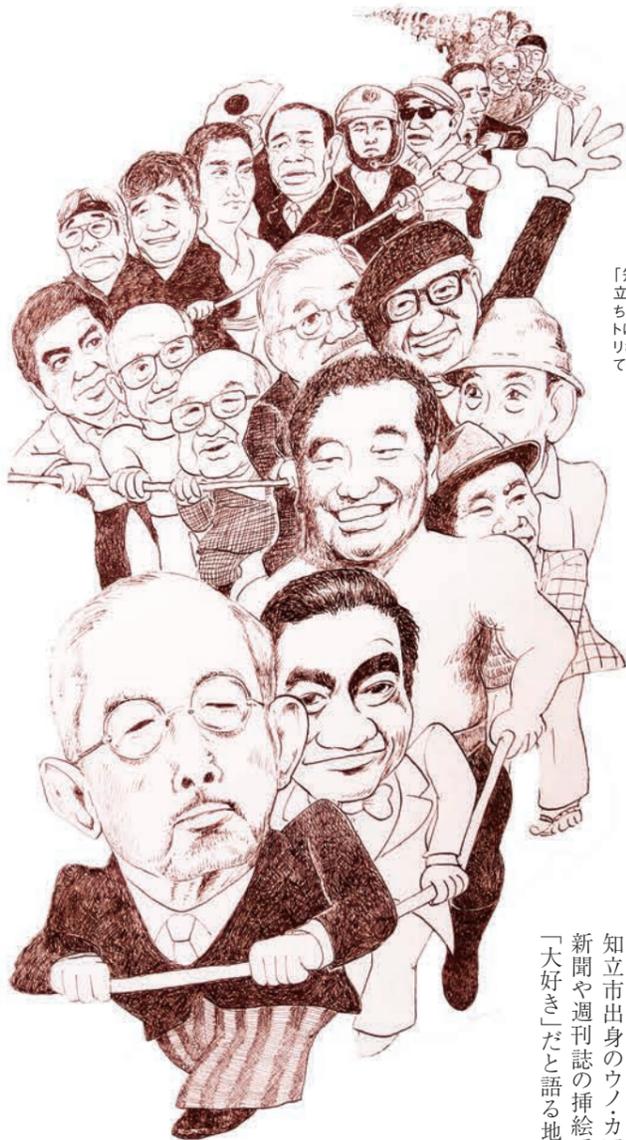
8月8日、市制50周年イベントの一環として行われた、子どもたちへのまんが教室を終えたばかりのウノ・カマキリさん。「久しぶりに知立に帰ってこれたうれしいです」と柔和な表情で迎えてくれました。

メーシオンを発表していた久里洋二氏とのつながりができると、自身のイラストや漫画を持参。作品を見てもらう機会を得ました。すると「週刊誌に売り込んでみては」とアドバイスを受けました。久里氏は日本人として初めてスイスの美術雑誌の表紙デザイン制作や 旭日小綬章を授与された人物。この言葉に背中を押され、アニメーターから漫画家への一歩を踏み出すことになりました。

人との出会いに助けられ 週刊誌で漫画家デビュー

著名な漫画家や雑誌の編集部に次々と作品を持ち込んだウノさん。「あの頃は図々しいやつでした」と笑います。三島由紀夫氏本人から「君の絵に興味がある」と言葉を受けた経験も。著名人ほど、会えば丁寧に、優しく応援してくれたと振り返ります。

ウノさんは1968年、週刊誌『平凡パンチ』でデビュー。グラビア8ページでイラストが掲載されました。「無名の新人に大役を任せましたが、雑誌、編集者が漫画家を育ててくれた」と振り返ります。



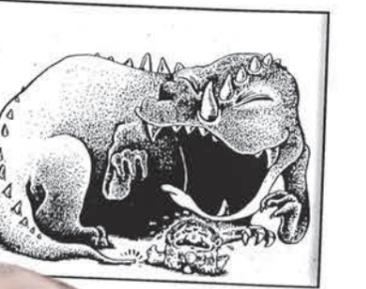
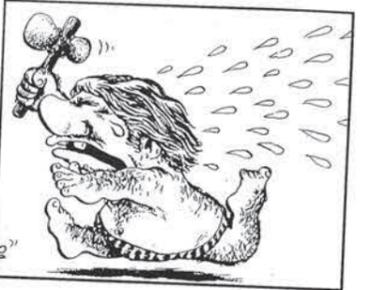
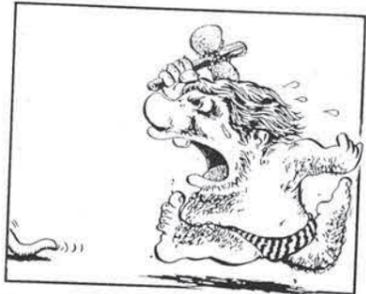
「知立は知立(ともだち)」のイラストはウノ・カマキリさんが手掛けています

巻頭特集

知立市出身の1コマ漫画家

ウノ・カマキリさん

知立市出身のウノ・カマキリさんは、日本を代表する漫画家として新聞や週刊誌の挿絵で活躍してきました。「大好き」だと語る地元・知立への思いを聞きます。



「発表の場が少なくなっているが、1コマ漫画という文化を残したい」。目が大きく痩せていたことからついた中学時代のあだ名がペンネームの由来です



『はちプラスむげん』(1979)の一部。コマの概念を必要としない「1コマ漫画」の制作に一貫して取り組みました

